

1年生学年だよ!

平成28(2016)年4月27日

第11号

吹田市立第二中学校第一学年

「家庭学習ドリル」 スタート!

本日より「家庭学習ドリル」の取り組みが始まります。目的は以下です。

- ①基礎、基本の力をつける。
- ②おうちで勉強する習慣をつける。

くわしい取り組み方は、右側に書いてある通りです。

あるTV番組で京都大学出身のお笑い芸人、ロザンの宇治原史規さんが、自身の学生時代の勉強方法を紹介していました。いくつか紹介します。

(その1) 勉強のスケジュールを立てる。



宇治原さんは、進学塾には一切通わず独学で勉強していたようです。そして、しっかりと勉強計画を立てていました。朝〇時に起きて、〇時〜〇時まで学校で、帰宅してから〇時〜〇時まで勉強、〇時〜〇時までお風呂で、〇時〜〇時まで夕食、〇時〜〇時まで勉強、〇時〜〇時まで睡眠、という具合に非常に細かく一日を分けて、この計画表通りに毎日過ごしていたそうです。また1日のスケジュールだけではなく、4月〜6月…暗記、7月〜9月…基本問題、10月〜12月…応用問題、1月〜2月…過去問題など3年時の年間計画を立てて、勉強をしていたそうです。これはなかなかできないかもしれませんが、「京大に合格する人は一日に何時間くらい勉強しているんですか?」と質問し、先生から「一日7時間くらいだね」と言われたので、一日8時間勉強したそうです。みんなが7時間くらい勉強して受かるんだから、8時間勉強したら受かるだろうと考えて、毎日8時間勉強していたそうです。



(その2) 徹底的に基礎基本をたき込む。

宇治原さんは、基礎を徹底的にやっていたため最初のうち全然成績が伸びず、最初は学校内でも成績は下から数えた方が早かったみたいです。ですが、基礎を徹底的にやっていたため、地力が付き、応用問題もスンナリと解けるようになって、成績もグングン右肩上がりになっていったそうです。その結果、学校内でも成績トップ3くらいに入る優等生になり、京大にも自分の計画通りに合格したみたいです。

何より宇治原さんの学力を支えたものは、家庭での自主学習です。その習慣が、希望進路の実現へつながったのだと感じます。学力向上の土台は、授業への取り組みと家庭学習です!

3年間使う予定ですので、大切にしてください。



漢字ドリル
「漢字の反復練習」

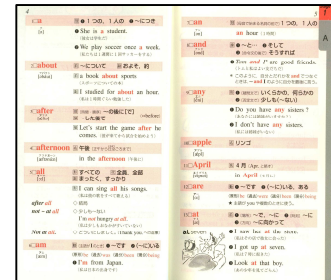


英単語ドリル
「新数学の基礎練習」

- ①木曜日〜日曜日に、英語2ページ、漢字2ページをノートに取り組む。
- ②漢字は漢字ノート、英単語は英語ノートで進める。
- ③点検表におうちの方からサインをもらう。
- ④ドリルはいつも連絡袋に入れておく。
- ⑤月曜日にノートを提出する。
- ⑥ていねいに出来てない場合は、月曜日〜水曜日で居残ります。



漢字は、10回
熟語は、下まで書けるだけ



単語番号をひる
一単語一行
意味を左下に書く



日付を
忘れずに!

保護者のみなさま

平素は、本校の教育活動にご理解、ご協力いただきまして、ありがとうございます。本校では、放課後学習会や夏トレなど、生徒の学力向上に向けての取り組みを進めています。基礎学力の定着には、家庭での反復学習が大切です。また、家庭で学習に取り組む習慣をつけることは、3年後の希望進路の実現にとって、大変重要です。つきましては、基礎学力と家庭学習習慣の定着をねらい、家庭学習ドリル(漢字・計算)をお子様配布することとしました。大変お手数ですが、保護者のみなさまには、お子様の学習状況を確認していただき、点検表へのサインをしていただきますよう、ご協力をお願いいたします。